

## 令和5年度第1回四街道市ごみ処理対策委員会 会議次第

日時：令和5年10月16日（月）14：00～  
場所：四街道市企業庁舎第2・第3会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 部長あいさつ

4 委員紹介

5 会長・副会長選出

6 議 事

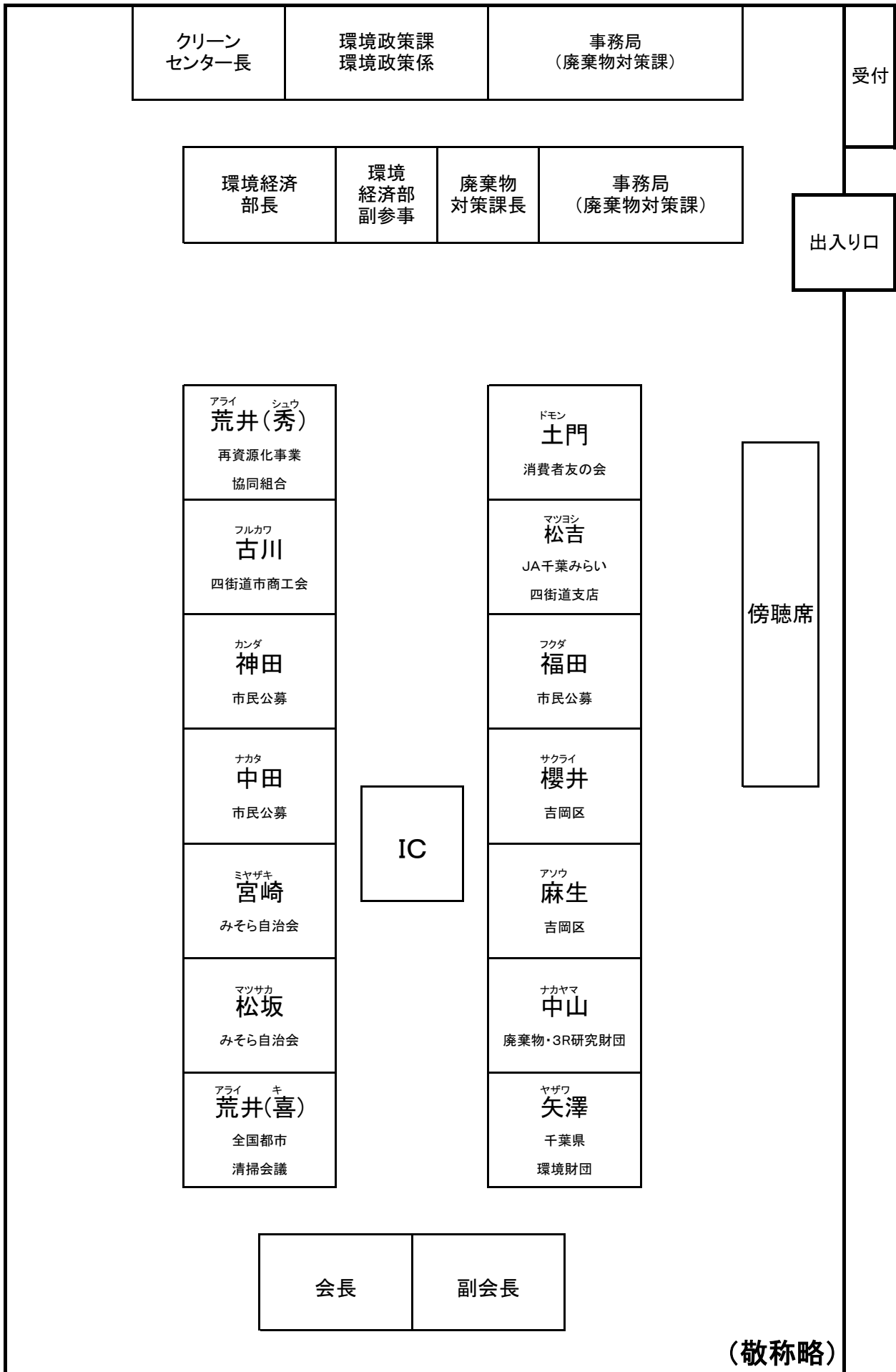
- ・「四街道市一般廃棄物処理基本計画」の進行管理について

7 そ の 他

8 閉 会

# 令和5年度第1回四街道市ごみ処理対策委員会席次表

令和5年10月16日(月) 企業庁舎第2・第3会議室



(敬称略)

# 四街道市一般廃棄物処理基本計画

令和4年度 年次報告書

(案)



令和5年     月

四街道市環境経済部廃棄物対策課

## はじめに

本市では、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間を計画期間とした「一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。5 年が経過した令和 3 年度には、社会的状況等の変化などを踏まえ、計画策定時に定めた数値目標等の見直しや、ごみの減量化及び資源化に関する新たな取組を追加するなどした「一般廃棄物処理基本計画(中間見直し)」を改めて策定し、これに基づき、計画的な一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理事業を実施するとともに、廃棄物の減量化及び資源化に努めてまいりました。

この報告書は、「一般廃棄物処理基本計画」の進行管理として、令和 4 年度における各種施策の取組実施状況の点検・評価を行い、その結果を取りまとめたものです。

## 目 次

第1章	点検・評価について	
1	計画の概要	2
2	点検・評価の方法	3
第2章	施策の実施状況について(ごみ処理)	
基本方針1	2Rを意識した3Rの推進	4
1-1	発生抑制・再使用・資源化の推進	4
1-2	3R推進のためのしくみづくり	6
基本方針2	市民・事業者・行政の協働	10
2-1	市民の取組	10
2-2	事業者の取組	12
2-3	行政の取組	13
基本方針3	適正処理の構築	15
3-1	収集・運搬の検討	15
3-2	中間処理施設の整備	16
3-3	最終処分の検討	18
3-4	適正な事業経営の推進	18
第3章	施策の実施状況について(生活排水処理)	
基本方針1	生活排水処理の推進	19
1-1	公共下水道の普及	19
1-2	高度処理型合併処理浄化槽の普及	19
基本方針2	市民・事業者・行政の協働	20
2-1	市民の取組	20
2-2	事業者の取組	21
2-3	行政の取組	22
基本方針3	適正維持管理の推進	23
3-1	適正な収集・運搬体制の維持	23
3-2	中間処理施設の適正管理	24
第4章	指標の進捗状況の評価	26
第5章	まとめ	35

## 第1章 点検・評価について

### 1 計画の概要

「一般廃棄物処理基本計画」では、一般廃棄物処理のカテゴリを「ごみ処理」と「生活排水処理」の2項目に分類し、以下のとおりそれぞれの基本理念、基本方針及び具体的な施策・取組を定めています。

#### ●ごみ処理

基本理念	
循環型社会形成推進に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、環境にやさしいまちの実現へ ～ 捨てる、でも減らす ごみ10%削減に挑戦 ～	
基本方針	中心となる施策
1 2Rを意識した3Rの推進	1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進 1-2 3R推進のためのしくみづくり
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組 2-2 事業者の取組 2-3 行政の取組
3 適正処理の構築	3-1 収集・運搬の検討 3-2 中間処理施設の整備 3-3 最終処分の検討 3-4 適正な事業経営の推進

#### ●生活排水処理

基本理念	
水環境の保全に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、環境にやさしいまちの実現へ ～ 生活排水処理率100%に挑戦 ～	
基本方針	中心となる施策
1 生活排水処理の推進	1-1 公共下水道の普及 1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組 2-2 事業者の取組 2-3 行政の取組
3 適正維持管理の推進	3-1 適正な収集・運搬体制の維持 3-2 中間処理施設の適正管理

## 2 点検・評価の方法

具体的な施策・取組の進捗状況について点検を行い、個別評価と総合評価として、下記の4段階で評価しました。

◎	実施又は実施中(順調に進捗している)
○	実施又は実施中(改善の余地あり)
△	実施に向け準備中
□	調査検討中又は未実施

また、各種施策の実行性をより確実なものとするために定めた具体的な指標を、年度ごとに比較し、下記の4段階で評価しました。

◎	数値目標に達している
○	数値目標に達していないが、前年度より目標年度の数値に近づいている
△	数値目標に達しておらず、横ばいである
□	数値目標に達しておらず、前年度より目標年度の数値から遠ざかっている

## 第2章 施策の実施状況について（ごみ処理）

### 基本方針1 2Rを意識した3Rの推進

#### 【1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進】

##### (1) 3Rに関する意識啓発活動の推進（計画書P62）

施策内容	① 3R意識の向上のための広報活動の実施	
具体的な取組状況	1) 市政だよりや市HP等において3Rの取組を啓発	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1) 市政だよりに「クルちゃんのごみの話」を6回掲載 (令和3年度：6回掲載) 資源回収の新たな取組等の内容を追加した、ごみ分別一覧表を作成し、全戸配布(40,418世帯)	◎
総合評価	◎	

##### (2) 発生抑制・再使用の更なる推進（計画書 P62）

施策内容	① 発生抑制・再使用の推進に繋がる意識啓発の実施	
具体的な取組状況	1) リサイクルショップ・フリーマーケット活用の奨め (不要品の出品、再使用目的品の購買による再使用の推進) 2) リユース品交換制度活用の奨め (不要品の提供、利用による再使用の推進) 3) 食品ロス削減に係る意識啓発の実施 (四街道市食べきり協力店事業、市内高等学校との連携によるイベント時の使いきり料理の販売、レシピの提供) 4) 生ごみリサイクルの意識啓発の実施 (生ごみ処理容器、発酵資材の提供)	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1) フリマアプリ等の活用を検討 2) リユース品情報コーナーを市HP及び市役所玄関フロアに掲載 実績(登録件数/成立件数) ・譲ります : 34件/4件(令和3年度：49件/12件) ・譲って下さい：16件/1件(令和3年度：23件/2件) 3) 市産業まつりにて市内大学と連携し、規格外品等の野菜を活用した、食材使いきり料理(マフィン等、248食)を販売 (令和3年度：イベントで市内高等学校と連携し、普段廃棄される野菜等を活用して、製作したカップケーキ等200食を販売) 市HPに掲載した食材使いきりレシピ数：3件 (令和3年度：3件)	□ ○ ◎



	<p>食べきり協力店登録店舗数：24 店舗(令和3年度：25 店舗)</p> <p>4)生ごみの減量を目的とした講習会の開催や生ごみたい肥化容器等の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみを減らそう講習会」開催回数：2回(10月、2月)</li> <li>・生ごみ処理容器・発酵資材の交付人数：51人</li> </ul> <p>※内、41人はごみを減らそう講習会参加者(令和3年度：17人)</p> <p>生ごみのたい肥化方法を、市公式YouTubeで紹介</p>	◎
総合評価	○	

施策内容	②発生抑制・再使用の推進のための制度の継続、充実、導入	
具体的な取組状況	<p>1)家庭系ごみの処理手数料制度の導入(令和2年9月1日より導入)</p> <p>2)リユース品交換制度の継続、更なる充実</p> <p>3)良質な粗大ごみの補修・販売制度の導入</p> <p>4)フードドライブの実施</p>	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	<p>1)家庭系ごみ排出量：18,102 t (令和3年度：18,528 t) 前年度比 △426 t (2.4%減)</p> <p>2)リユース品情報コーナー実績(登録件数/成立件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・譲ります : 34件/4件(令和3年度：49件/12件)</li> <li>・譲って下さい：16件/1件(令和3年度：23件/2件)</li> </ul> <p>(再掲(2)-①)</p> <p>3)他自治体で開設しているリサイクルプラザを参考にするなど、次期ごみ処理施設整備と一体で検討</p> <p>4)市窓口での回収の他、令和4年10月からイトーヨーカドー四街道店にフードドライブボックスを設置し、回収した食品を社会福祉協議会に寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付した食品数：2,992点(令和3年度：454点)</li> </ul>	<p>◎</p> <p>○</p> <p>□</p> <p>◎</p>
総合評価	○	

(3)資源化の推進(計画書 P62)

施策内容	① 資源化の推進に繋がる意識啓発の実施	
具体的な取組状況	<p>1)集団回収への協力要請</p> <p>2)雑がみ分別の広報等</p> <p>3)プラスチック・ビニール類の更なる減量化、再資源化への取組</p> <p>4)公共施設10カ所での小型家電の拠点回収</p>	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況	1)実施団体の募集記事を市政だより及び市HPに掲載	◎

個別評価	<p>・ 集団回収事業実施団体：63団体(令和3年度：61団体)</p> <p>・ 回収量：744t (令和3年度：783t)</p> <p>・ 実施団体への補助金額：3,737,165円 (令和3年度：4,049,710円)</p> <p>・ 四街道市再資源化事業協同組合への補助金額：3,596,100円 (令和3年度：7,964,188円)</p> <p>2) 雑がみ分別の啓発記事を、市政だより及び市HPに掲載 自治回覧にて雑がみ分別の啓発チラシを配布 市産業まつりにて、雑がみ保管袋を配布：25枚</p> <p>・ 雑がみ排出量：375.33t (令和3年度：315.11t) 前年度比 60.22t (19.1%増)</p> <p>3) 令和5年2月に、HOYA株式会社と「使い捨てコンタクトレンズ 空ケースの回収に関する協定」を締結し、市役所玄関フロア及び わろうべの里にて回収を開始</p> <p>「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行 に伴い製品プラスチックの収集方法の変更を検討</p> <p>社会福祉協議会が実施するペットボトルキャップの回収について、 市役所玄関フロアにおいても回収箱を設置し、常時回収</p> <p>・ 社会福祉協議会回収実績：1,420kg(令和3年度：1,092.1kg)</p> <p>4) 小型家電の拠点回収：1.02t(令和3年度：0.76t)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
総合評価	◎	

【1-2 3R推進のためのしくみづくり】

(4) 発生抑制・再使用のための側面支援 (計画書P63)

施策内容	<p>①市民・事業者の発生抑制のための自発的活動の側面支援 (市民団体の生ごみたい肥化事業、情報提供支援、生ごみ処理容器・発酵資材の提供)</p>	
具体的な取組状況	<p>1) 自発的活動を促進するための情報提供</p> <p>2) 生ごみ処理容器・発酵資材を配布</p>	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	<p>1) 生ごみの減量を目的とした講習会を開催</p> <p>・ 「ごみを減らそう講習会」開催回数：2回(10月、2月)</p> <p>生ごみのたい肥化方法を、市公式YouTubeで紹介(再掲(2)-①)</p> <p>2) 生ごみ処理容器・発酵資材を交付</p> <p>・ 交付人数：51人</p> <p>※内、41人はごみを減らそう講習会参加者 (令和3年度：17人) (再掲(2)-①)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>
総合評価	◎	

施策内容	②エコショップ制度の側面支援	
具体的な取組状況	1)牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行っている小売店を「エコショップ」として認定し、市HPにおいて紹介	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)エコショップ認定店舗数：6店舗(令和3年度：6店舗)	○
総合評価	○	

施策内容	③事業系ごみの分別の徹底及び資源ごみの自己処理の要請	
具体的な取組状況	1)事業系ごみの展開検査を実施し、搬入物について届出内容と相違がないか確認し、不適正な搬入に対して分別指導	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)展開検査数及び指導件数：12件/12件(令和3年度：10件/8件)	○
総合評価	○	

施策内容	④家庭系ごみの処理手数料制度の導入(令和2年9月1日より導入)	
具体的な取組状況	1)家庭系ごみの排出を抑えるため、処理手数料制度を導入	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)家庭系ごみ排出量：18,102 t(令和3年度：18,528 t) 前年度比 △426 t(2.4%減)(再掲(2)-②)	◎
総合評価	◎	

施策内容	⑤拡大生産者責任の明確化	
具体的な取組状況	1)本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じて、生産者責任法の整備と事業者責任の強化について国に要望	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)生産者責任法の整備と事業者責任の強化について賛同し、国に要望	○
総合評価	○	

施策内容	⑥リユース品の交換制度の充実	
具体的な取組状況	1)市HPを通じた広報	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)リユース品情報コーナーを市HP及び市役所玄関フロアに掲載 実績(登録件数/成立件数) ・譲ります : 34件/4件(令和3年度:49件/12件) ・譲って下さい:16件/1件(令和3年度:23件/2件) (再掲(2)-①、(2)-②)	○
総合評価	○	

施策内容	⑦食べきり協力店制度の側面支援	
具体的な取組状況	1)市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い、「食べ残しゼロ」を啓発	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)食べきり協力店の募集記事を、市HPに掲載 ・食べきり協力店登録店舗数:24店舗(令和3年度:25店舗) (再掲(2)-①)	○
総合評価	○	

施策内容	⑧雑がみ分別の支援	
具体的な取組状況	1)雑がみを分別し排出することを周知 2)雑がみの回収方法の検討	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)雑がみ分別の啓発記事を、市政だより及び市HPに掲載 自治回覧にて雑がみ分別の啓発チラシを配布 市産業まつりにて、雑がみ保管袋を配布:25枚 ・雑がみ排出量:375.33t(令和3年度:315.11t) 前年度比 60.22t(19.1%増)(再掲(3)-①) 2)モデル地区にて検証を行った後、雑がみ回収用の網袋をゴミ集積所に配布し、回収することを決定 (令和3年度:雑がみを排出しやすいように、専用袋をゴミ集積所に配布し、回収する方向で検討)	◎           ◎
総合評価	◎	

(5)資源化のための側面支援（計画書 P63）

施策内容	①広報手法や広報媒体の充実	
具体的な取組状況	1)ごみ分別促進アプリケーション「さんあ〜る」の配信 2)「さんあ〜る」ウェブ版の配信 3)「さんあ〜る」外国語版(4カ国語)を掲載 4)プレスリリースの実施	
担当部署	クリーンセンター、廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)登録件数 : 4,592件(令和3年度:3,523件) 2)市HPにて、ウェブ版を配信 3)外国語版登録件数: 122件(令和3年度:91件) 4)民間企業と連携した新たな資源回収の取組等のプレスリリースを実施	◎ ◎ ◎ ◎
総合評価	◎	

施策内容	②使用済みインクカートリッジの回収	
具体的な取組状況	1)市役所玄関フロアに使用済みインクカートリッジ回収箱を設置	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)インクカートリッジ回収量:2,670個 80.1kg (令和3年度:1,721個 51.63kg)	◎
総合評価	◎	

施策内容	③廃乾電池の拠点回収の試行実施	
具体的な取組状況	1)市役所廃棄物対策課にて廃乾電池を回収	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)廃棄物対策課に常時設置していた回収箱を、令和4年4月より、市民のさらなる利便性向上のため市役所玄関フロアに移動	◎
総合評価	◎	

基本方針2 市民・事業者・行政の協働

【2-1 市民の取組】

(6)循環型社会を構築するためのライフスタイルの転換（計画書 P64）

施策内容	①もったいない意識を常に心がける	
具体的な取組状況	1)3キリ（食材の使いきり、食べきり、水きり）について広報 2)フードドライブ事業の実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)市産業まつりにて市内大学と連携し、規格外品の野菜等を活用した、食材使いきり料理(マフィン等、248食)を販売 (令和3年度：イベントで市内高等学校と連携し、普段廃棄される野菜等を活用して、製作したカップケーキ等200食を販売) 市HPに掲載した食材使いきりレシピ数：3件 (令和3年度：3件) 食べきり協力店登録店舗数：24店舗(令和3年度：25店舗) (再掲(2)-①) 市産業まつりにて、水きりネットを配布：120枚	◎
	2)市窓口での回収の他、令和4年10月からイトーヨーカドー四街道店にフードドライブボックスを設置し、回収した食品を社会福祉協議会に寄付 ・寄付した食品数：2,992点(令和3年度：454点)(再掲(2)-②)	◎
総合評価	◎	

施策内容	②ごみの減量化、資源化等の環境問題に関心を持つ	
具体的な取組状況	1)生涯学習まちづくり出前講座を活用したごみ減量化・資源化等に関する講座、見学会等の実施 2)小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)生涯学習まちづくり出前講座として講座、見学会を実施 ・「ごみの減量とリサイクル講座」の実施回数：1回 (令和3年度：0回) ・クリーンセンター施設見学会の実施回数：11回 (令和3年度：9回)	◎
	2)小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施 ・授業の実施回数：3回(中央小学校4年生3学級) (令和3年度：3回)	◎
総合評価	◎	

施策内容	③市民団体の生ごみたい肥化事業等への参加	
具体的な取組状況	1)生ごみのたい肥化に関心を持ってもらうため、講習会の開催及び生ごみ処理容器・発酵資材を配布	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)生ごみの減量を目的とした講習会の開催や生ごみたい肥化容器等の交付 ・「ごみを減らそう講習会」開催回数：2回(10月、2月) ・生ごみ処理容器・発酵資材の交付人数：51人 ※内、41人はごみを減らそう講習会参加者 (令和3年度：17人) 生ごみのたい肥化方法を、市公式YouTubeで紹介 (再掲(2)-①、(4)-①)	◎
総合評価	◎	

(7)分別排出への協力（計画書 P64）

施策内容	①分別を徹底し、異物混入を防止	
具体的な取組状況	1)分別が不十分なまま集積所に排出されているごみについて、違反シールを貼付し、分別徹底を促す	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)シール貼付枚数：約17,550枚(令和3年度：約10,750枚)	○
総合評価	○	

施策内容	②雑がみを資源化するための分別の徹底	
具体的な取組状況	1)雑がみを分別し排出することを周知 2)雑がみの回収方法の検討	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)雑がみ分別の啓発記事を、市政だより及び市HPに掲載 自治回覧にて雑がみ分別の啓発チラシを配布 市産業まつりにて、雑がみ保管袋を配布：25枚 ・雑がみ排出量：375.33t(令和3年度：315.11t) 前年度比 60.22t(19.1%増)(再掲(3)-①、(4)-⑧) 2)モデル地区にて検証を行った後、雑がみ回収用の網袋をごみ集積所に配布し、回収することを決定 (令和3年度：雑がみを排出しやすく、専用袋をごみ集積所に配布し、回収する方向で検討)(再掲(4)-⑧)	◎        ◎
総合評価	◎	

(8) 不法投棄防止への協力（計画書 P64）

施策内容	①不法投棄防止の視点での監視、通報の協力	
具体的な取組状況	1)不法投棄禁止看板の設置 2)不法投棄のパトロール 3)市民や自治会、他部署からの通報を受けての現地確認	
担当部署	廃棄物対策課、環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)不法投棄禁止看板設置・配布本数：40本(令和3年度：66本) 不法投棄禁止ラミネート配布枚数：52枚(令和3年度：10枚) 2)週5日程度パトロールを実施(令和3年度：週4日程度) 3)現地確認件数：96件(令和3年度：124件)	○  ◎ ○
総合評価	○	

【2-2 事業者の取組】

(9) 自己処理の原則に基づくごみ排出量減量化への協力（計画書 P64）

施策内容	①ごみの減量化、資源化計画の策定及び実施	
具体的な取組状況	1)四街道市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第5条に規定する多量排出者に該当する者等がいた場合における減量化、資源化計画の策定及び提出の指示	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)該当者なし(適正な排出が行われている)	◎
総合評価	◎	

(10) 拡大生産者責任による製品の製造・販売への配慮（計画書 P64）

施策内容	①不要となった製品の環境負荷に及ぼす影響が最小となる再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性を配慮して製品の製造・販売	
具体的な取組状況	1)本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性の配慮について国に要望	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性の配慮について賛同し、国に要望	○
総合評価	○	



(11)環境保全・資源保全に関する取組の公表（計画書 P64）

施策内容	①環境保全・資源保全に関する取組の公表	
具体的な取組状況	1)ごみの減量・リサイクルを進める取組として、牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行っている小売店を「エコショップ」として認定し、市HPにおいて紹介 2)市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い、「食べ残しゼロ」を啓発	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)エコショップ認定店舗数：6店舗(令和3年度：6店舗) (再掲(4)-②) 2)食べきり協力店の募集記事を、市HPに掲載 ・食べきり協力店登録店舗数：24店舗(令和3年度：25店舗) (再掲(2)-①、(4)-⑦)	○    ○
総合評価	○	

【2-3 行政の取組】

(12)本計画の基本理念及び基本方針の周知（計画書 P64）

施策内容	①ごみ処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者にも周知と行政の積極的行動	
具体的な取組状況	1)基本理念及び基本方針を、市HPにおいて紹介	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)一般廃棄物処理基本計画を、市HPに公表 令和3年度年次報告書を、市HPに公表	◎
総合評価	◎	

施策内容	②拡大生産者責任の働きかけを行う	
具体的な取組状況	1)本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、生産者責任法や事業者責任の強化について国に要望	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)生産者責任法の整備と事業者責任の強化について賛同し、国に要望(再掲(4)-⑤)	○
総合評価	○	

施策内容	③出前講座等による市民・事業者への積極的な啓発活動を継続	
具体的な取組状況	1)生涯学習まちづくり出前講座を活用したごみ減量化・資源化等に関する講座、見学会等の実施 2)小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)生涯学習まちづくり出前講座として講座、見学会を実施 ・「ごみの減量とリサイクル講座」の実施回数：1回 (令和3年度：0回) ・クリーンセンター施設見学会の実施回数：11回 (令和3年度：9回)(再掲(6)-②) 2)小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施 ・授業の実施回数：3回(中央小学校4年生3学級) (令和3年度：3回)(再掲(6)-②)	◎          ◎
総合評価	◎	

(13)計画達成のための具体的施策等の実践(計画書P64)

施策内容	①ごみ削減アイデア、実践事例を市民・事業者から広く募集し、応募者との意見交換等の交流を通して情報の共有を行い、実践事例等を市HPや産業まつりにおいて紹介	
具体的な取組状況	1)ごみ削減の実践動画を市HP等に公開 2)食品ロス削減のため、食材使いきりレシピの募集及び応募作品の公開	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)生ごみのたい肥化方法を、市公式YouTubeで紹介 (再掲(2)-①、(4)-①、(6)-③) 2)市HPに掲載した食材使いきりレシピ数：3件 (令和3年度：3件)(再掲(2)-①、(6)-①)	◎       ○
総合評価	◎	

### 基本方針3 適正処理の構築

#### 【3-1 収集・運搬の検討】

##### (14) 状況の変化に対応した収集・運搬の検討（計画書 P65）

施策内容	①家庭系ごみ処理手数料制度導入時の戸別収集の検討	
具体的な取組状況	1) 制度を導入している自治体を参考に、収集に関する様々な観点から検証を行い、本市で実施する場合の課題や問題点等について調査研究を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1) 本市で実施する場合における課題について他市の事例を調査	□
総合評価	□	

施策内容	②粗大ごみの処理券の導入の検討	
具体的な取組状況	1) 粗大ごみの処理手数料を「納付書方式」から事前に処理券を購入してもらう「シール券方式」に変更することで、滞納を防ぐなど効率的な業務管理の実施に向けた検討	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1) 「シール券方式」の導入準備として、市HP等による市民への周知及びシール券を販売する市内の小売店等と契約を締結（令和3年度：処理料金はおおむね現状のまま、シール券方式に移行する方針を決定）	◎
総合評価	◎	

施策内容	③プラスチック・ビニール類の一括回収	
具体的な取組状況	1) 令和4年4月から施行される「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、プラスチック・ビニール類の一括回収の実施を検討	
担当部署	廃棄物対策課、クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1) 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い製品プラスチックの収集方法の変更を検討(再掲(3)-①)	○
総合評価	○	

## (15)環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P65）

施策内容	①低公害型車両の導入誘導	
具体的な取組状況	1)収集業者に対して、低公害型車両の導入を推奨 ※マイルドハイブリッド収集車両の使用	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)マイルドハイブリッド収集車両：4台(全車両27台) (令和3年度：4台)	○
総合評価	○	

## 【3-2 中間処理施設の整備】

## (16)新ごみ処理施設の整備の検討（計画書 P65）

施策内容	①循環型社会推進のためのごみ処理システムの決定	
具体的な取組状況	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施 (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築	□
総合評価	□	

施策内容	②次期ごみ処理施設の基本計画策定	
具体的な取組状況	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施 (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築(再掲(16)-①)	□
総合評価	□	

(17) エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備（計画書 P65）

施策内容	①エネルギー回収型廃棄物処理施設（次期ごみ処理施設）の整備	
具体的な取組状況	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施  (今後の対応)エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備方針は、ごみ処理システムを再構築後に検討	□
総合評価	□	

施策内容	②生活環境影響調査、発注仕様書作成等エネルギー回収施設整備に係る事業の実施	
具体的な取組状況	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討により、次期ごみ処理施設の整備及び運営事業を実施する事業者を選定するための発注支援業務委託を中断  (今後の対応)エネルギー回収施設整備に係る事業は、ごみ処理システムを再構築後に検討	□
総合評価	□	

(18) マテリアルリサイクル推進施設の整備（計画書 P65）

施策内容	①マテリアルリサイクル推進施設（破碎、圧縮、選別、梱包施設、再生、保管、展示等リサイクル推進に資する施設）の整備	
具体的な取組状況	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討を実施  (今後の対応)マテリアルリサイクル推進施設の整備方針は、ごみ処理システムを再構築後に検討	□
総合評価	□	

【3-3 最終処分の検討】

(19)最終処分量の減量化の検討（計画書 P65）

施策内容	①焼却残渣の取扱について検討	
具体的な取組状況	1)現在、県外の自治体に搬出し、埋立て最終処分をしている焼却灰について、再生資材等として有効利用を行う事業者等の把握	
担当部署	クリーンセンター	
進捗状況 個別評価	1)焼却残渣の再利用を行っている事業者を選定し、受入れ自治体と事前協議のうえ、事業者と契約を締結 (令和3年度：他市の実施状況及び焼却残渣の再利用を行っている事業者を調査)	◎
総合評価	◎	

(20)最終処分方法の検討（計画書 P65）

施策内容	①災害廃棄物の最終処分対応について検討	
具体的な取組状況	1)平成29年度に策定した「四街道市災害廃棄物処理計画」における木くず、金属くず、コンクリート片の再使用・再利用・再資源化について検討	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)市内に事業所を有する民間業者と災害時における協力体制に関する協定を締結	○
総合評価	○	

【3-4 適正な事業経営の推進】

(21)ストックマネジメント体制の整備（計画書 P65）

施策内容	①ストックマネジメント体制の整備	
具体的な取組状況	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討により、中断中	
担当部署	廃棄物対策課	
進捗状況 個別評価	1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討により、中断中	□
総合評価	□	

### 第3章 施策の実施状況について（生活排水処理）

#### 基本方針1 生活排水処理の推進

##### 【1-1 公共下水道の普及】

###### (1) 経済的助成制度（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域での早期接続を誘導するため、「四街道市水洗便所改造資金助成条例」の周知を働きかける	
具体的な取組状況	1)水洗便所改造資金の助成の実施	
担当部署	下水道課	
進捗状況 個別評価	1)当該助成金は、市が行う下水道の新規整備に伴い生じるもので、現在、下水道整備はほぼ完了している。30年度以降、実施がないため、対象者無し	◎
総合評価	◎	

###### (2) 水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを、啓発活動を通して呼びかける	
具体的な取組状況	1)市政だよりや産業まつりにおいて、下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯に対する接続の啓発活動の実施	
担当部署	下水道課	
進捗状況 個別評価	1)市政だより、市HP及び市産業まつりにて下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯へ接続の啓発活動を実施	◎
総合評価	◎	

##### 【1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及】

###### (3) 経済的助成制度の周知（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域外での高度処理型合併処理浄化槽への転換設置を誘導するため、「四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金交付要綱」に基づき、転換設置者に対して経済的助成制度の活用を働きかける	
具体的な取組状況	1)四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金交付要綱に基づき、補助要件を満たす高度処理型合併処理浄化槽へ転換設置する世帯に対して補助金を交付	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)高度処理型合併処理浄化槽設置整備促進事業補助金交付件数：1件(令和3年度：1件)	◎
総合評価	◎	

(4)水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①高度処理型合併処理浄化槽の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを、啓発活動を通して呼びかける	
具体的な取組状況	1)市窓口等で啓発リーフレット等を配布し、市政だよりや市HPに啓発記事を掲載するなど啓発活動を実施 2)宅地開発業者に高度処理型合併処理浄化槽の設置を指導	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)啓発リーフレットの配布及びポスターの掲示 啓発記事を市政だより及び市HPに掲載 2)開発行為事前協議の際、宅地開発業者に対して高度処理型合併処理浄化槽の設置を住民等に呼びかけるように指導：5件 (令和3年度：7件)	◎  ◎
総合評価	◎	

基本方針2 市民・事業者・行政の協働

【2-1 市民の取組】

(5)循環型社会のライフスタイルへの転換（計画書 P88）

施策内容	①大量消費、大量廃棄の生活スタイルから資源を大切にし、資源の循環に配慮した消費活動やライフスタイルへ転換し、水環境の保全に努める	
具体的な取組状況	1)家庭における浄化槽の適切な維持管理を周知	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)啓発記事を、市政だより及び市HPに掲載 浄化槽の適切な維持管理を市民に要請：0件 (令和3年度：1件)	◎
総合評価	◎	

施策内容	②家庭でできる身近な生活排水対策を実践し、環境負荷の軽減に努める	
具体的な取組状況	1)簡単に実践可能な生活排水対策を、市HPにおいて紹介	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)生活排水対策が記載された市の環境白書を、市HPに掲載	◎
総合評価	◎	



施策内容	③水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力	
具体的な取組状況	1) 市内各地域で行われる河川清掃等の環境美化活動への協力	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1) 四街道自然同好会による山梨地区ホタル自生地の手繰川清掃活動(10月26日)への協力 ・ 市民参加人数：18人(令和3年度：12人)	◎
総合評価	◎	

(6)生活排水対策の実施（計画書P88）

施策内容	①公共下水道供用開始区域については下水道への早期接続、区域外については高度処理型合併処理浄化槽の設置等、適正な生活排水対策に努める	
具体的な取組状況	1) 合併処理浄化槽の設置や、浄化槽の適切な維持管理について、チラシ等を活用した広報活動の実施 2) 市政だよりや産業まつりにおいて、公共下水道未接続の世帯に対する接続の啓発活動を実施	
担当部署	環境政策課、下水道課	
進捗状況 個別評価	1) チラシ等の配布及び啓発記事を市政だよりや市HPに掲載 2) 市政だより、市HP及び市産業まつりにて下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯へ接続の啓発活動を実施 (再掲(2)-①)	◎ ◎
総合評価	◎	

【2-2 事業者の取組】

(7)自己処理の原則に基づく適正処理（計画書P88）

施策内容	①自己処理の原則に基づく、適正な排水処理及び環境負荷の低減	
具体的な取組状況	1) 市内（公共下水道供用開始区域外）に事業所がある事業者に対し、雑排水等の処理には高度処理型合併処理浄化槽を用いるよう協力を要請	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1) 開発行為事前協議の際、開発業者に対して高度処理型合併処理浄化槽の設置するよう協力要請：3件(令和3年度：2件)	◎
総合評価	◎	

## (8)環境保全・資源保全意識の向上（計画書 P88）

施策内容	①事業者として環境保全意識及び資源保全意識の向上	
具体的な取組状況	1)市内（公共下水道供用開始区域外）に事業所がある事業者に対し、汚濁物質削減への協力を要請	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)施設内設備の適正な維持管理により、水質汚濁の原因となる物質を抑制するよう要請：1件(令和3年度：6件)	◎
総合評価	◎	

施策内容	②水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力	
具体的な取組状況	1)市内各地域で、事業者による河川清掃等の環境美化活動を実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)市内の4団体がそれぞれ環境美化活動を実施	◎
総合評価	◎	

## 【2-3 行政の取組】

## (9)本計画での基本理念及び基本方針の周知（計画書 P88）

施策内容	①生活排水処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者へ周知と行政の積極的行動	
具体的な取組状況	1)基本理念及び基本方針を市政だよりや市HPにおいて周知 2)印旛沼流域環境・体験フェアに参加し、四街道市ブースでPRを実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)市HPで周知 2)印旛沼流域環境・体験フェア：未実施	○ △
総合評価	△	

施策内容	②環境保全、生活排水処理に関する情報の提供	
具体的な取組状況	1)市HPにおいて市の環境（生活排水を含む）に関する情報を提供	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)生活排水対策が記載された市の環境白書を市HPに掲載（再掲(5)-②）	◎
総合評価	◎	

## (10) 計画達成のための施策等の決定（計画書 P88）

施策内容	①各種施策の実施計画の策定及び予算の確保	
具体的な取組状況	1)生活排水処理実施計画の策定 2)四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金の予算確保等を実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)生活排水処理計画を4月1日付けで策定し、市HPに公表 2)高度処理型合併処理浄化槽設置整備促進事業補助金交付件数： 1件(令和3年度：1件)(再掲(3)-①)	◎ ◎
総合評価	◎	

## 基本方針3 適正維持管理の推進

## 【3-1 適正な収集・運搬体制の維持】

## (11) 状況変化に対応した適正な収集・運搬体制の維持（計画書 P89）

施策内容	①し尿及び浄化槽汚泥の収集量の変化に対応した、適正な収集・運搬体制を維持	
具体的な取組状況	1)市内で発生するし尿量及び浄化槽汚泥量と収集・運搬業者の収集能力とを比較検討し、適正な体制を維持	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)令和3年度末の浄化槽清掃業等の許可更新時に、汚泥発生量と収集量とを比較検討し、現状の体制が適正であると判断 ※許可の更新は、2年に1回（前回更新：令和4年3月末）	◎
総合評価	◎	

## (12) 環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P89）

施策内容	①環境と安全に配慮した収集・運搬効率の向上	
具体的な取組状況	1)許可業者の作業計画を分析し、収集・運搬効率の最適化	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)令和3年度末の浄化槽清掃業等の許可更新時に、業者の作業計画は問題ないものであると判断。また、収集車の更新時には環境に配慮した低公害型車両の導入を検討するよう依頼 ※許可の更新は、2年に1回（前回更新：令和4年3月末）	○
総合評価	○	

【3-2 中間処理施設の適正管理】

(13) 浄化槽の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①法的に義務付けられている設置者の責務等について周知及び浄化槽の適正な維持管理の推進	
具体的な取組状況	1)市HP等において、法令により定められている浄化槽の検査や清掃について広報を実施	
担当部署	環境政策課	
進捗状況 個別評価	1)市政だより及び市HPに掲載	◎
総合評価	◎	

(14) し尿・浄化槽汚泥の中間処理施設の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①汚泥再生処理センターの適正な維持管理及び機能の保全	
具体的な取組状況	1)汚泥を活用した肥料を市民農園等に配布し、再生汚泥の循環を実施	
担当部署	廃棄物対策課、印旛衛生施設管理組合	
進捗状況 個別評価	1)市民農園で配布した再生肥料の配布数：173袋 (令和3年度：210袋) 四街道市民全体に配布した再生肥料の配布数：6,938袋 (令和3年度：8,227袋)	◎
総合評価	◎	

施策内容	②受入品質の変化に対応した適正処理（し尿の減少、浄化槽汚泥の増量に適正に対応）	
具体的な取組状況	1)(14)-①の施策により、肥料の供給先を確保	
担当部署	廃棄物対策課、印旛衛生施設管理組合	
進捗状況 個別評価	1)構成市町村等へ配布した再生肥料：474.61t (令和3年度：509.42t) 四街道市民全体に配布した再生肥料の配布量：76.32t (令和3年度：90.50t)	◎
総合評価	◎	

(15) 公共広域下水道施設の適正な維持管理（計画書 P89）

施策内容	①公共広域下水道処理施設の適正な維持管理	
具体的な 取組状況	1) 下水道の適正な維持管理を、市HP等において周知	
担当部署	下水道課、印旛沼流域下水道花見川終末処理場(公益財団法人千葉県下水道公社)	
進捗状況 個別評価	1) 施設見学、出張下水道教室、パンフレットの配布といった下水道知識の普及啓発事業を通して下水道の適正な維持管理を周知	◎
総合評価	◎	

## 第4章 指標の進捗状況の評価

### 指標の進捗状況の評価

#### ●実績と数値目標（ごみ処理）

項目	当初計画 最終年度 の実績	前計画中間 目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	現状の 実績	最終年度 の数値目標
	H27年度	R2年度	R4年度	R4年度	R7年度
1人1日あたり 総排出量 (生活系ごみ+ 事業系ごみ)	832 g	793 g	761 g	765 g	755 g
1人1日あたり 家庭系ごみ排出量	554 g	497 g	500 g	516 g	495 g
リサイクル率	23.4%	26.4%	23.1%	21.7%	23.9%
最終処分率	9.9%	9.3%	9.3%	9.0%	9.2%

※1人1日あたり総排出量、1人1日あたり家庭系ごみ排出量、最終処分率は数値目標を下回ること、リサイクル率は上回ることを目指します。

※家庭形ごみとは、生活系ごみの内、資源物（資源物、有害ごみ）を除いたものです。

#### ●実績と数値目標（生活排水処理）

項目	当初計画 最終年度 の実績	前計画 中間 目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	現状の 実績	最終年度 の数値目標
	H27年度	R2年度	R4年度	R4年度	R7年度
公共下水道 接続人口	77,182人	79,351人	79,490人	80,951人	79,699人
合併処理浄化槽人口	8,812人	10,590人	10,935人	11,277人	11,452人
単独処理浄化槽人口	1,928人	1,846人	1,813人	1,259人	1,763人
し尿汲み取り人口	3,519人	3,362人	3,299人	2,674人	3,204人

※公共下水道接続人口、合併処理浄化槽人口は数値目標を上回ることを目指し、単独処理浄化槽人口、し尿汲み取り人口は下回ることを目指します。

評価指標	1人1日あたり総排出量(生活系ごみ+事業系ごみ)																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		793g																																					
	最終年度 (R7年度)		755g																																					
実績値	H27年度	832g	R元年度	813g																																				
	H28年度	829g	R2年度	822g																																				
	H29年度	801g	R3年度	784g																																				
	H30年度	794g	R4年度	765g																																				
進捗 グラフ	<table border="1"> <caption>進捗グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (g)</th> <th>目標値 (g)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>832</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>829</td><td>-</td></tr> <tr><td>H29</td><td>801</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>794</td><td>-</td></tr> <tr><td>R1</td><td>813</td><td>-</td></tr> <tr><td>R2</td><td>822</td><td>793</td></tr> <tr><td>R3</td><td>784</td><td>764</td></tr> <tr><td>R4</td><td>765</td><td>761</td></tr> <tr><td>R5</td><td>-</td><td>759</td></tr> <tr><td>R6</td><td>-</td><td>757</td></tr> <tr><td>R7</td><td>-</td><td>755</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (g)	目標値 (g)	H27	832	-	H28	829	-	H29	801	-	H30	794	-	R1	813	-	R2	822	793	R3	784	764	R4	765	761	R5	-	759	R6	-	757	R7	-	755
	年度	実績値 (g)	目標値 (g)																																					
H27	832	-																																						
H28	829	-																																						
H29	801	-																																						
H30	794	-																																						
R1	813	-																																						
R2	822	793																																						
R3	784	764																																						
R4	765	761																																						
R5	-	759																																						
R6	-	757																																						
R7	-	755																																						
(単位：g)      —◆実績値      ……○目標値																																								
評価	○	<p>実績値は、目標値に達していませんが、平成27年度以降、最少となりました。主な要因は、市民の分別・リサイクル意識の高まりや「ごみ処理手数料制度」の導入などによる生活系ごみ排出量の減少によるものです。</p>																																						

評価指標	1人1日あたり家庭系ごみ排出量			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		497 g	
	最終年度 (R7年度)		495 g	
実績値	H27年度	554 g	R元年度	551 g
	H28年度	552 g	R2年度	564 g
	H29年度	543 g	R3年度	530 g
	H30年度	540 g	R4年度	516 g
進捗 グラフ	<p>(単位：g)      —◆— 実績値      ……○ 目標値</p>			
評価	○	<p>実績値は、目標値に達していませんが、平成27年度以降、最少となりました。主な要因は、市民の分別・リサイクル意識の高まりや「ごみ処理手数料制度」の導入などによる生活系ごみ排出量の減少によるものです。</p>		



評価指標	リサイクル率			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		26.4%	
	最終年度 (R7年度)		23.9%	
実績値	H27年度	23.4%	R元年度	21.4%
	H28年度	22.5%	R2年度	21.1%
	H29年度	22.3%	R3年度	21.3%
	H30年度	22.9%	R4年度	21.7%
進捗 グラフ				
	(単位：%)      —◆実績値      ……○目標値			
評価	△	<p>実績値は、目標値に達しておらず、ほぼ横ばいの状態が続いています。</p> <p>目標値に達するには、市民・事業者・行政が一体となった一層の努力が必要です。</p>		

評価指標	最終処分率			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		9.3%	
	最終年度 (R7年度)		9.2%	
実績値	H27年度	9.9%	R元年度	9.5%
	H28年度	9.5%	R2年度	9.6%
	H29年度	9.9%	R3年度	9.2%
	H30年度	9.1%	R4年度	9.0%
進捗 グラフ	<p>(単位：%)      —◆実績値      ……○目標値</p>			
評価	◎	<p>実績値は、本年度も目標値に達しています。主な要因は、市民の分別・リサイクル意識の高まりや「ごみ処理手数料制度」の導入などによる生活系ごみ排出量の減少によるものです。</p>		

評価指標	公共下水道接続人口			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2年度)		79,351人	
	最終年度 (R 7年度)		79,699人	
実績値	H27年度	77,182人	R元年度	79,282人
	H28年度	77,402人	R 2年度	79,567人
	H29年度	77,781人	R 3年度	80,579人
	H30年度	78,334人	R 4年度	80,951人
進捗 グラフ				
	(単位：人)      —◆実績値      ……○目標値			
評価	◎	実績値は、本年度も目標値に達しています。主な要因は、公共下水道接続区域の人口増加によるものです。		

評価指標	合併処理浄化槽人口			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2年度)		10,590人	
	最終年度 (R 7年度)		11,452人	
実績値	H27年度	8,812人	R元年度	10,308人
	H28年度	9,277人	R 2年度	10,634人
	H29年度	9,529人	R 3年度	10,806人
	H30年度	10,015人	R 4年度	11,277人
進捗 グラフ	<p>(単位：人)      —◆— 実績値      ……○ 目標値</p>			
評価	◎	実績値は、本年度も目標値に達しています。主な要因は、公共下水道未接続区域の人口増加によるものです。		

評価指標	単独処理浄化槽人口			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		1, 846人	
	最終年度 (R 7 年度)		1, 763人	
実績値	H27年度	1, 928人	R 元年度	1, 862人
	H28年度	1, 938人	R 2 年度	1, 618人
	H29年度	1, 951人	R 3 年度	1, 340人
	H30年度	1, 922人	R 4 年度	1, 259人
進捗 グラフ	<p>(単位：人)      —◆実績値      ……○目標値</p>			
評価	◎	実績値は、本年度も目標値に達しています。主な要因は、老朽化等により、既存の単独処理浄化槽を廃止したことによるものです。		

評価指標	し尿汲み取り人口			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		3, 362人	
	最終年度 (R 7 年度)		3, 204人	
実績値	H27年度	3, 519人	R 元年度	3, 393人
	H28年度	3, 515人	R 2 年度	3, 330人
	H29年度	3, 645人	R 3 年度	2, 966人
	H30年度	3, 466人	R 4 年度	2, 674人
進捗 グラフ				
	(単位：人)      —◆実績値      ……○目標値			
評価	◎	実績値は、本年度も目標値に達しています。		

## 第5章 まとめ

各種施策の総合評価について、全60項目のうち、「◎」が36項目、「○」が16項目となっており、全体の87%で取組が実施できています。一方で、「△」が1項目、「□」が7項目となっており、その多くがごみ処理の「基本方針3 適正処理の構築」で掲げられている施策です。特に遅れが見られる「新ごみ処理施設整備の検討」については、今後、市の整備手法の最終的な方針をなるべく早期に決定できるよう努めていきます。その他の項目についても、市民の意識・ニーズの変化、廃棄物の質的多様化など、社会の諸変化に応じて、新たな取組の導入や既存の取組の見直しを検討していきます。

次に、指標の進捗状況の評価について、全8項目のうち、「◎」が5項目、「○」が2項目、「△」が1項目となっており、特に「◎」となった「最終処分率」及び生活排水処理の3項目については、既に最終年度の目標値まで達しています。一方で、ごみ処理の全4項目のうち、最終処分率を除く3項目については、年度の目標値に達することが出来ませんでした。特に「リサイクル率」は伸び悩んでおり、今後、分別の周知・徹底や、新たな回収方法の導入など、再資源化に取り組みやすい環境づくりに努めます。

### ●施策の評価一覧

基本方針		項目数	◎	○	△	□
ごみ処理	1 2Rを意識した3Rの推進	15	8	7	0	0
	2 市民・事業者・行政の協働	13	8	5	0	0
	3 適正処理の構築	12	2	3	0	7
生活排水処理	1 生活排水処理の推進	4	4	0	0	0
	2 市民・事業者・行政の協働	10	9	0	1	0
	3 適正維持管理の推進	6	5	1	0	0
合計		60	36	16	1	7

### ●数値目標の達成状況一覧

項目	達成状況
1人1日あたり総排出量	○
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	○
リサイクル率	△
最終処分率	◎
公共下水道接続人口	◎
合併処理浄化槽人口	◎
単独処理浄化槽人口	◎
し尿汲み取り人口	◎

ごみ減量・リサイクル  
キャラクター  
クルちゃん



四街道市一般廃棄物処理基本計画  
令和4年度 年次報告書

令和5年 月

発行 四街道市  
千葉県四街道市鹿渡無番地  
TEL 043-421-6132  
FAX 043-424-2013